

# おめでとうございます 春の叙勲・褒章

## 瑞宝単光章

石橋安夫さん  
(83歳・原釜)



石橋さんは相馬市出身。昭和38年に市消防団に入団し、漁業に従事しながら消防団活動に尽力。平成10年3月に第三分団副分団長として退団するまでの35年間、市の防火、防災に貢献しました。  
(石橋さんのコメント)  
家族の支えがあつての受章で、言葉も出ないくらいの喜びです。仕事と消防団の両立は大変だと思いますが、現役の団員たちにはこれからも活動をがんばってほしいです。

## 瑞宝単光章

志賀隆信さん  
(72歳・中村)



志賀さんは双葉町出身。昭和45年に福島県警巡查として勤務。刑事として事件の解決に尽力したほか、東北管区機動隊員として県外での警備に従事するなど、地域の治安維持に貢献しました。  
(志賀さんのコメント)  
事件の捜査など、警察官として体を使って仕事をしてきました。これからを担う若い人たちには、自分の頭で柔軟に考える、人間味のある人になってほしいです。

## 寄付ありがとうございます 株式会社ADE KA

株式会社ADE KAの高橋眞木雄相馬工場長ら2人は5月19日、市役所を訪れ、災害への支援金を立谷市長に手渡しました。

同社は、3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震により被災した地域の復興支援のため、本市に寄付を行つたもの。

立谷市長は「ありがとうございます。地震被災者の支援のため大切にに使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。



## 子どもたちの虫歯予防のために寄贈

### 相馬歯科医師会

虫歯予防デンタルフロスの寄贈は5月31日、市役所で行

われ、佐藤宏相馬歯科医師会会長と渡辺亜希子同会地域保健委員長が訪れました。

寄贈は、同会が児童・生徒の虫歯予防普及啓発を目的に、6月4日～6月10日の歯と口の健康週間に併せて行うもの。



寄贈を受けた福地憲司教育長は「寄贈ありがとうございます。小・中学校に配布し、子どもたちの自発的な健康管理意識の向上につなげます」と感謝の言葉を述べました。

## 歴史と文化を感じて歩く

### みちのく潮風トレイル

第13回みちのく潮風トレイルin相馬with第41回市民歩け歩け大会は6月4日、市役所をスタート地点に開催され、県内の参加者95人がウォーキングを楽しみました。

市、市教育委員会、市観光協会の主催。

参加した人たちは、相馬の歴史と文化を感じながら、相馬野馬追が行われる馬陵公園を含む市街地約7キロメートルを歩きました。



## 心を一つに全力で走り切れ

## 飯豊スポーツフェスタ



した。

同スポーツフェスタのスローガンは「心を一つに全力で走り切れ」で、全学年一斉での開催は3年ぶり。

参加した子どもたちは、ラジオ体操で準備運動をした後、徒競走、団体競技の玉入れや綱引きのほか、園児と保護者による「それゆけ、親子でデカパンマン」など全14種目を行いました。

青空の下、子どもたちは、保護者らの声援を受けながら、最後まであきらめずに全力で競争しました。

ゴルゴ松本氏「命」を熱弁  
未来への「志」づくり

未来への「志」づくり事業講演会は5月24日、市民会館で開催され、相馬高等学校、相馬総合高等学校の1年生ら約400人が参加しました。

同講演会は市民会館の主催。ゴルゴ松本の「命の授業」と題した講演が行われ、ゴルゴ松本さんは命や心などを体で表現しながら、生徒たちに命と心の大切さを伝えました。



## 不審者侵入に備えて 幼稚園・小学校防犯教室

## ▽磯部小学校

磯部小学校の防犯教室は5月25日、同小学校で、全校児童20人を対象に行われました。

同教室は、授業中の不審者侵入を想定して行われ、教師が不審者に対応することで、児童の安全を確保することを目的に実施。

不審者役の警察官が1階昇降口から校舎に侵入し、発見した教師が不審者を説得している間に、児童らは教室を施錠し、カーテンを閉めて安全を確保するなど、緊急時の対応を学びました。



## ▽桜丘小学校



桜丘小学校の防犯教室は5月26日、同小学校で、全校児童482人を対象に行われました。

同教室は、授業中の不審者侵入を想定して行われ、教師が不審者に対応することで児童の安全を確保すること、児童が教師の指示に従い冷静に避難できるようにすることを目的に実施。

不審者発見後、全校児童は教師らの指示に従って校庭に避難し、不審者への備えと訓練の大切さを学びました。

## ▽飯豊幼稚園・小学校

飯豊幼稚園・小学校の防犯教室および引き渡し訓練は6月10日、同小学校で、園児・児童240人を対象に行われました。

訓練は、不審者が校庭に侵入したことを想定して行われ、侵入時に校庭にいた児童が教師の指示に従って教室に避難し、施錠して不審者の侵入を防いだほか、保護者に引き渡しのメールが送信されました。

園児らは、迎えにきた保護者と一緒に、防犯への意識を高めました。



## 相馬愛育園で子育てイベント

### ▽主任児童委員さんと遊ぼう

相馬愛育園は6月6日、同園で「主任児童委員さんと遊ぼう」を開催しました。



同イベントは、市内9地区に2人ずついる主任児童委員と子育て世代とのふれあいの機会をもつことを目的に、主任児童委員が交代で親子を対象とした大型絵本の読み聞かせや季節の手遊びなどを行うもの。

参加した子どもたちは、大型絵本に見入ったり、カエルになりきってジャンプ遊びをするなど、主任児童委員と楽しい時間を過ごしました。

### ▽ベビーアイアイ広場

相馬愛育園ベビーアイアイ広場は6月7日、同園で開催され、親子ら28人が参加しました。

同イベントは、生後6カ月から2歳程度の親子を対象にした親子教室で、子育ての仲間作りや親子の交流を目的に今年度より開催。

参加した親子らは大型絵本に見入ったり、動物になりきって親子で一緒に体を使って遊んだほか、子どもとのふれあいを通じてお母さん同士



が交流し、なごやかな時間を過ごしました。

## 楽しいお話に引き込まれる パネルシアター



パネルシアターは6月4日、LVMH子どもアート・メゾンで開催され、親子ら約10人が参加しました。

市ママバトン会の主催。

同会は育児を行うママたちの有志で立ち上げた団体で、子ども向けのイベントを行っています。

参加した子どもたちは、ママバトン会のスタッフによる童話「金のおの」の読み聞かせや音楽に合わせて動かすミュージックパネル、クイズなどを楽しみました。

## 相馬民謡の後継者を育成 子ども民謡教室開校式

子ども民謡教室の開校式は6月9日、総合福祉センターで開催され、10人の児童・生徒が参加しました。

教室は、相馬民謡の継承を目的に、相馬民謡同好会の協力を得て開かれており、今年で6年目。

今年の生徒数は、新規参加者2人と特別参加の高校生を加えた11人で、開校式のあと、子どもたちは熱心に講師の指導を受けていました。



## インターハイ出場を目指す スポーツ大会出場報告

スポーツ大会出場報告は6月10日、市役所で行われ、荒

あかり選手（相馬高校3年）が訪れました。

荒選手は、第68回福島県高等学校体育陸上競技大会の競歩5、000メートルで2位（大会新記録）の成績をおさめ、6月14日開催の第77回東北高等学校陸上競技大会に出場。

荒選手は「東北大会では自己ベストを出し、徳島で開催されるインターハイへの切符を勝ち取りたいです」と大会への抱負を述べました。

